

## 7 - 1 長基線地電位観測について

### On the Observation of Geoelectric Field with a Long Electrode Span

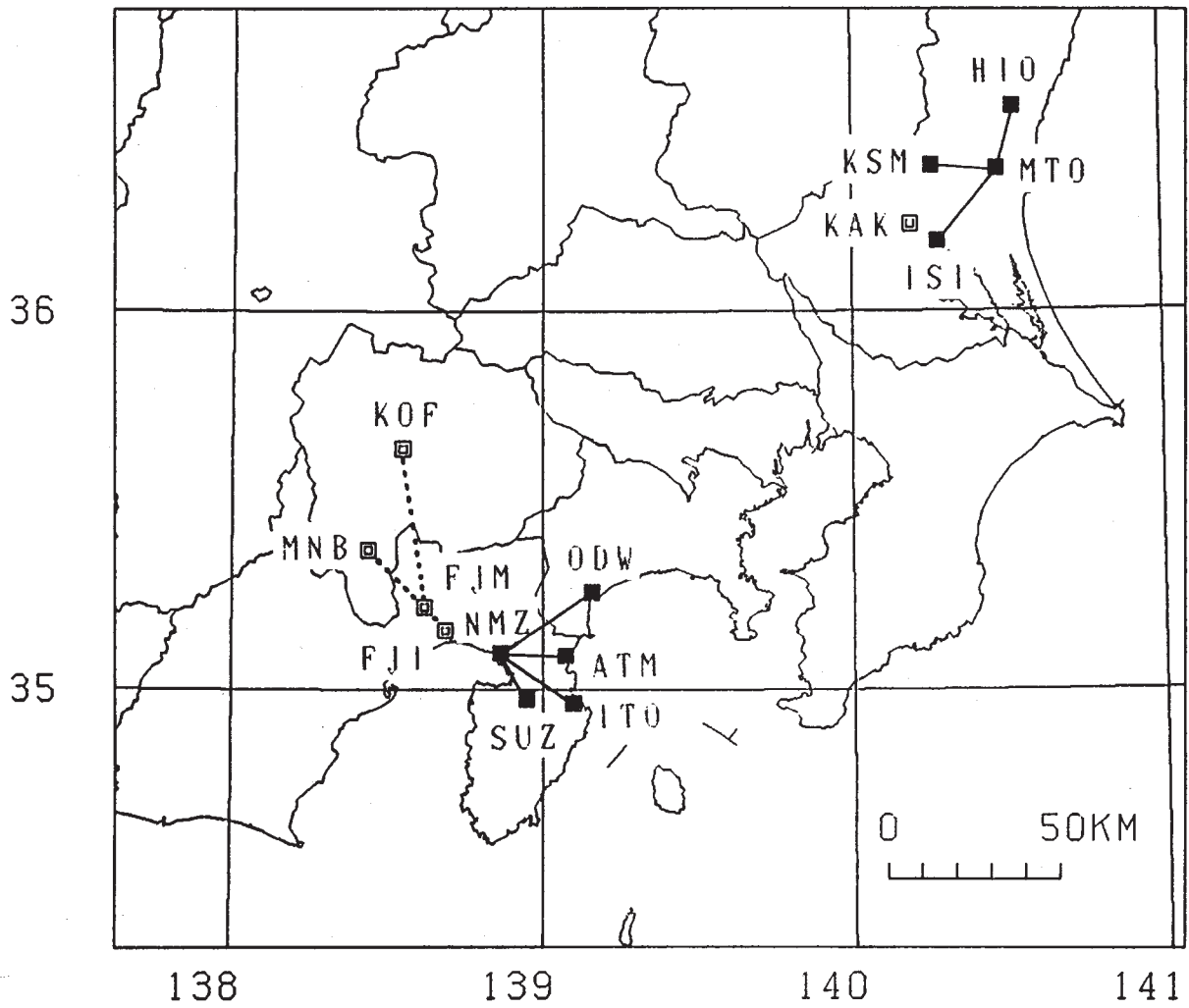
気象研究所

Meteorological Research Institute

N T Tの好意により, 基線長 15 - 45 kmの地電位観測を行っている。水戸 (M T O), 沼津 (N M Z) および富士宮 (F J M) を基準にして, それぞれ, 第 1 図の実線および破線で接続した電話局の電位を測定している。従ってそれぞれの観測網内において, 地点相互間の電位差を計算できる。

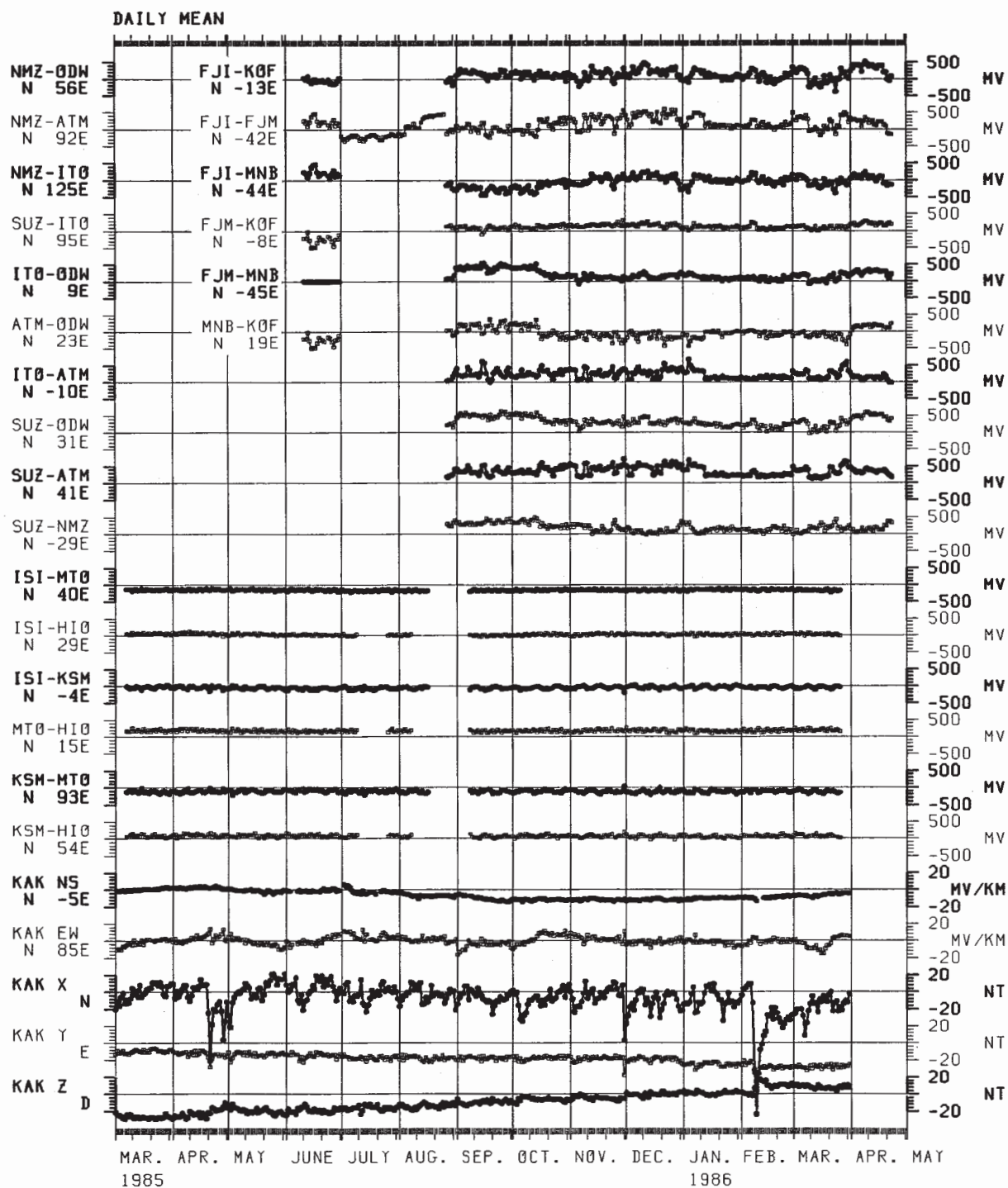
第 2 図は日平均値をプロットしたものである。沼津系統は人工的变化が大きいため, ばらつきが大きい。数日程度の変化を無視して考えると, (1) 1985 年 10 月中旬, (2) 1985 年 12 月下旬から 1986 年 1 月上旬および (3) 3 月頃の変化が目立つ。(1) は熱海 (A T M) で 300mv 程度, 修善寺 (S U Z) および伊東 (I T O) で 100mv 程度電位が減少したものと思われる。これは東伊豆の体積歪計が変化した時期と一致し, また, この頃より伊豆半島東方沖での群発地震活動が活発化している。(2) は沼津の電位だけが変化し, (3) は全体的に変化が激しい。これらの変化に対応するものは, いまのところ見当たらない。水戸系統では, 数日から 10 日程度の周期変化が見られるが, 特別異常と思われる変化はない。

(森俊雄, 高山寛美, 吉川澄夫, 小泉岳司)



第1図 NTT地電位観測地点  
 KAK：柿岡地磁気観測所

Fig. 1 Observation networks for geoelectric field.  
 KAK: Kakioka Magnetic Observatory.  
 Others: NTT repeater stations.



第2図 地電位，地磁気の日平均値変動

NMZ - ODW ~ SUZ - NMZ : 沼津系統

FJI - KOF ~ MNB - KOF : 富士宮系統

ISI - MTO ~ KSM - HIO : 水戸系統

KAK NS, EW : 柿岡地電位

KAK X, Y, Z : 柿岡地磁気

Fig. 2 Geoelectric and geomagnetic variations in daily means.  
 NMZ-ODW ~ SUZ-NMZ: Geoelectric variations at Numazu-group.  
 FJI-KOF ~ MNB-KOF: Geoelectric variations at Fujinomiya-group.  
 ISI-MTO ~ KSM-HIO: Geoelectric variations at Mito-group.  
 KAK EW, KAK NS: Eastward and northward components of geoelectric variation at Kakioka.  
 KAK X, KAK Y, KAK Z: Eastward, northward and downward components of geomagnetic variation at Kakioka.